

前回ヒアリング時の質問事項への回答
 (独立行政法人労働政策研究・研修機構研究員 山本陽大氏)

質問事項	回答
<p>ドイツの失業率、 若年層の失業率、 東西差</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ドイツの失業率 (2015 年) : 4.6% (2005 年は 11.2%だったが、徐々に低下している。) <p>(出典) 独立行政法人 労働政策研究・研修機構 「データブック国際労働比較 2017」 (URL) http://www.jil.go.jp/kokunai/statistics/databook/2017/04/p141_t4-2.pdf</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ドイツの年齢階級別失業率 (2015 年) 15～24 歳 : 7.2% 25～54 歳 : 4.4% 55～64 歳 : 4.7% <p>(出典) 独立行政法人 労働政策研究・研修機構 「データブック国際労働比較 2017」 (URL) http://www.jil.go.jp/kokunai/statistics/databook/2017/04/p145_t4-4.pdf</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 東西差 (2017 年 12 月) 旧西ドイツの失業率 : 4.9% 旧東ドイツの失業率 : 7.1% <p>(出典) Das Statistik-Portal <Arbeitslosenquote in Deutschland nach Bundesländern im Dezember 2017> (URL) https://de.statista.com/statistik/daten/studie/36651/umfrage/arbeitslosenquote-in-deutschland-nach-bundeslaendern/</p>
<p>ドイツの労働協 約のカバー率</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 労働協約の拘束率 (就業者ベース) (2016 年) 旧西ドイツ : 59% 旧東ドイツ : 47% <p>(備考) 労働協約の拘束率 : 産業別労働協約と企業別労働協約を合わせた労働協約が適用される就業者比率。</p> <p>(出典) 独立行政法人 労働政策研究・研修機構 <DGB 組合員数、協約拘束率—ともに遞減> (URL) http://www.jil.go.jp/foreign/jihou/2017/11/germany_01.html</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 組合組織率 (2015 年) : 19.0% <p>(備考) 組合組織率 : 政府公表の組合員数を、政府公表の雇用者数で除した値。組合員数は DGB (独労働総同盟)、DBB (独官吏連盟)、CGB (独キリスト教労組連盟) の合計。</p> <p>(出典) 独立行政法人 労働政策研究・研修機構 「データブック国際労働比較 2017」 (URL) http://www.jil.go.jp/kokunai/statistics/databook/2017/07/p221_t7-1.pdf</p>

<p>日独における一次産業から三次産業までの比率</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本（2015年） <ul style="list-style-type: none"> 一次産業：1.1% 二次産業：28.9% 三次産業：70.0% ● ドイツ（2015年） <ul style="list-style-type: none"> 一次産業：0.6% 二次産業：30.5% 三次産業：68.9% <p>（出典）独立行政法人 労働政策研究・研修機構 「データブック国際労働比較 2017」 （URL）http://www.jil.go.jp/kokunai/statistics/databook/2017/01/p029-030_t1-5.pdf</p>
<p>日独における大企業と中小企業の比率</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本（2009年） <ul style="list-style-type: none"> 中小企業の割合（企業数）：99.7% ● ドイツ（2012年） <ul style="list-style-type: none"> 中小企業の割合（企業数）：99.6% <p>（備考）中小企業の定義 日本：常用雇用者 300 人以下（卸売・サービス業は 100 人以下、小売・飲食業は 50 人以下）、又は資本金 3 億円以下（卸売業は 1 億円以下、小売・飲食・サービス業は 5000 万円以下）。 ドイツ：従業員 500 人未満又は年間売上高 5 千万ユーロ未満。 （出典）経済産業省「通商白書 2013」 （URL）http://www.meti.go.jp/report/tsuhaku2013/2013honbun_p/pdf/2013_02-03-01.pdf</p>